食いもの」の神語り

日本の食の遠源に迫る。

豊かな海山の幸に恵まれた

食いもの」

の神語り

木村紀子 著 (角川選書)

木村紀子

## おばあちゃんからライオンをかくすには

## ヘレン・スティーヴンズ 作 (ブロンズ新社)

おばあちゃんにも秘密がありそう を隠さなくちゃ。でも、なんだか、 暮らしていること。ある日、おばアイリスの秘密は、ライオンと あちゃんが泊まりに来ることにな 大変!ライオン

## ~5歳児向け) (0 りました。さあ、

つつがなき七草粥やうす明り 小 塚

れそうて日

がな一日寒日

美

枝

杉浦みどり

湊 かなえ 著 (新潮社) う

絶唱

浮かぶ島。そこで生まれたそれが辿りついた場所は、太平洋に 「死」に打ちのめされた彼女たち 果たすために、逃げ出すために。 ぞれの「希望」のかたちとは? 心を取り戻すために、約束を

## 子香る湯気のむかふに母の杉本

つ向きて師走の街の異邦人 石黑貴代子 影衿 子 神 々へ蝋燭灯す大晦日

冬木立光の衣まとひけ 坪 井 径 子

山 歌 塆

水野笑子

選

周 さざん花の花二三輪の咲き初むも りの花の少なく淋し 林 た ょ

文献のわずかな記述を手がかり紀・古事記・万葉集などの古代は何を食べていたのか?日本書

太古、

日本列島に生きた人々

老い人多く寝息響けり湯宿より帰る高速バスなれば 落合さなえ

散らふ葉のなき晩秋となる街路樹のユリノキ剪定強く 路樹のユリノキ剪定強くして

(ミネルヴァ書房)

江口匡太 著

路に急ぐ数羽の雁は秋の夕日に映ゆる大 映ゆる大空を 安藤 定 岳

宿晚

荒川 昌 枝

大人になって読む経済学の教科書

経済学の教科書 江口匡太

E)

52

(A) ALUIT LEARNERS

空き時間に電車やカフェでさくも盛り込んだ経済学の入門書。社会で議論になっているテーマ社会で議論になっているテーマを見かれるが、

わないスタイルで構成。さく読めるよう、数式や図を使

ラジオ体操に身構へて立

そに近づかむと手習ひ励む 字

昔ながらの暮らしいとしむ何もかも全て変りし世となりて

読み手となりて百人一首す孫子らと父母の匂ひすカード出し 吾 母 安達 洋

バスもしばしを待つ隠岐の旅放牧の馬はのんびり道ふさぐ 1 出 寿 枝

ため尽力する。職員一丸となっ再編し、心新たに、豊山の発展の

をスタートさせる。組織機構も 向こう五年間の新しい基本計画

Ξ つ 四つ風花つれて初 詣 藤 春

曹

山俳句クラブ

青山克己 選

ħ れと不安だらけや黄水仙 青山とも子

、年の声透きとほる枯野かな岡 島

齋

閉 ざされ しままの障子やみぞれ空 高木須磨子 田村多喜子

美しくなければならぬ冬椿 昭 子

同じ道日に二度三度小晦日坪井 村 上 ゆり子

Ŋ とり居の片隅暗き十二月 青 山 克己

夫と吾それぞれの位置決めてあり 柳千鶴子

配りの美しさにあり師の手本 井上とよほ

は確かにあなたの娘、の顔重なりて見ゆ七十路の 木村 櫛田真寿美 和 子 子 り、育てていく▼四月から、町は あたたかいつながりを大切に守

我が国は人口減少時代に入り

最大限に活かし、にぎわいを創北部市場といった本町の特徴を の郷土愛は、どこから生まれる 縮小を招く。地域経済の縮小が方は人口が減少し、地域経済の 引き継いできた伝統・文化・緑あ 出する。それとともに、先人から ンビレッジ」をまちの将来像と 「にぎわいとやすらぎのアーバかに暮らせる環境を併せ持った 業を営む場がなければならない てくれない。やはり、そこには生 けでは必ずしも若者は帰ってき ながりである▼しかし、それだ のか。その一つは、人と人とのつ この町を想い、愛着を感じる。そ を開くのもよいなと思っている。」。 ろいろな方と話した今は、修業 夢見ていた。でも、この会議でい そのまま京都で店を開くことを 代の青年は、会議終了後、こう語 年の町民討議会議に参加した十 首都圏や近畿圏に転出する。地 若い世代は、進学時や就職時に ふれる景観、そして人と人との している。空港、航空宇宙産業、 ▼本町は、都市的な要素と、穏や した後、帰ってきてこの町で店 理師学校に通う。ここに来る前は、 ってくれた。「四月から京都の調 いう悪循環の連鎖が始まる▼昨 さらに人口減少を加速させると る自治体もあるといわれている。 ?的には存続自体が危ぶまれ

討議会議の青年は、

、きっと帰

い次元で完成させたとき、あの て「アーバンビレッジ」をより高